

多高通信

第271号 令和6年9月26日発行



さどく ゆたかに たくましく
宮城県多賀城高等学校

第35回 多高祭!

■多高祭実行委員長
3年1組 相澤 夏姫(岩切中出身)

今年度の多高祭は、例年より一ヶ月早まったの開催となりました。そのため、準備や練習に追われながら多高祭当日を迎えました。

1日目は文化部、有志、クラスパフォーマンスといったステージ発表が行われました。どれも盛り上がり、最高に楽しむことができました。

2日目には、一般公開が行われ、なんと1500人を超える方々にご来場いただきました。クラスや部活ごとの出展・展示はどれも大盛況で、生徒達からは多くの笑顔が見られ思い出に残る文化祭となりました。これまで、様々な運営に携わってくださった先生方、自分の役割を全うしてくれた実行委員の皆さんをはじめとして生徒の方々、ありがとうございました。今回の文化祭を通して学びや成長があったことは間違いありません。来年度も更に充実した文化祭になるように応援しています。



普通科理系2年生

関東研修実施!

7月30日(火)～31日(水)の2日間、2年普通科理系生徒10名が関東研修を行いました。理系生徒を対象に、先端科学・技術の一端を、大学や研究機関における見学や実験実習を通して理解を深めることを目的として行

われ、東京海洋大学の視察とキューピー株式会社総務部の上田史恵様より講演をいただきました。充実した2日間となり、今後の課題研究や進路実現に活かせる充実した研修となりました。



(SSH)生徒研究発表会!

8月7日(水)～8日(木)の2日間、神戸国際展示場で「全国SSH生徒研究発表会」が行われました。全国231校のSSH指定校の高校生が集まり、高校年代最高レベルの研究発表が行われました。本校からは、災害科学科3年生の「塩竈市浦戸諸島における海底火山の連続性」を研究したグループが参加し、2日間にわたるポスター発表を審査員や参加生徒へ行いました。

■生徒の感想

○今回生徒研究発表会に参加して全国のレベルの高い研究を見ることができ、新たな発見や多くの疑問や関心を持つことができました。また、審査員の方からの厳しいご指摘をいただき改めて自分



達の研究を見直し深く考えることができました。そして今後はこの研究を後輩たちにより良いものにしていってほしいと思いました。

○参加した学校は、正確なデータを出すために何度も試行錯誤して実験を行って、それに比べて自分たちの実験は、試行回数が少なくても信憑性のあるデータではなかったり、足りない部分がとても多かったりと考えさせられました。また、課題研究の質が高く、良い刺激になりました。

JR東日本共同研修会実施!

8月8日(木)に「電車からの避難を考える」をテーマにJR東日本共同研修会を開催しました。普通科・災害科学科の代表生徒が参加し、JR東日本の職員の方と災害等に関する意見交換・電車からの避難訓練を通して、仙石線沿線での災害に対する避難方法の課題を見いだし、解決のための方法を職員の方と共に考える内容でした。より多くの命を守る避難方法を今後提案していきたいと考えました。

